

平成 28・29 年度

第 1 回学会・医会協議会常任委員会議事録

- ・日 時 平成 28 年 9 月 18 日 (日) 13:20～15:00
- ・場 所 東海大学校友会館 霞が関ビル 35F「三保の間」
- ・出席者 森山 寛会長。高橋晴雄、小川 郁、西崎和則、原 晃、春名眞一、藤岡 治、浅井英世、今井昭雄、古川 亘、黒野祐一、阪上雅史、高橋 姿、川寄良明、阿部 隆、伊東祐久、岩佐英之各委員。
吉村 理、稲村直樹、坂口文雄、永田博史、小山賢吾、松岡秀樹、水津百合子、山下裕司、高石 司、野上兼一郎各委員。
香取幸夫、山本 裕各幹事。
- ・司会者 小川 郁委員、坂口文雄委員。

会長挨拶

協議事項

1. 学会・医会協議会および常任委員会の委員について (森山会長)
標記の委員構成について森山会長から説明があり、これを承認した。
2. 専門医制度について (阪上委員)
新専門医制度の現在までの推移と専門医機構の現在の基本方針等と日耳鼻の対応について、また今後の専門医更新について報告された。専門医の差別化について、更新費用について、講習会におけるメーカー協賛のありかたについて情報交換が行われた。
3. 日耳鼻会員情報一元化管理事業について (高橋晴雄委員)
標記事業の概略について報告された。
4. 学会・医会協議会等のあり方について (森山会長、浅井委員)
平成 28 年 6 月に医会全般に関する WG が設立され、WG の委員に浅井英世(座長)、阿部 隆、伊藤祐久、岩佐英之、小川 郁、阪上雅史、福與和正、藤岡 治が委嘱された(敬称略)。平成 28 年 9 月 11 日までに 2 回の WG を開催し、以下の意見集約がなされ一次答申として報告された。

地域医療の重要性が高まる中、耳鼻咽喉科においても医師会や他科との連携を円滑

かつ強化し、耳鼻咽喉科の地域医療を充実し、また日耳鼻会員の半数を超える開業医の意見が反映されるように、医会の無い県にも医会を組織し、全国的な医会組織を構築する必要がある（医会組織のある都道府県は現有のまま）。

この意見に関して協議し、賛同に至った。

5. その他

（森山会長）

前項の協議に引き続いて、森山会長より、地域医療計画が進められる中で、まずは全国的な連絡体制（全国耳鼻咽喉科医会連絡協議会：仮称）を立ち上げ、最終的には他科にみられるような医会の組織を目指すこと、その経過の中でNPO 日本耳鼻咽喉科医会との協調などを経て統一の医会組織づくりの必要性が説明された。また今後は学会と医会との関係をより強固にしていく必要があるため、学会・医会協議会などの役割は極めて重要になるとの見解が示された。そして全国的な医会組織を構築するスケジュール案が提示された。これを協議し、今後の医会全般に関するWGならびに本協議会で検討しつつ、全国的な医会組織の構築を目指すことを承認した。